

喜茂別岳(1,176.8m) 平成29年2月12日(日)

CL 後藤 スキー班・藤木晴。笹山。佐藤。谷。西田芳。山岸。渡邊
スノーシュー班・藤木た。西田昌。鈴木。川村。栗山

6:20 伊達道の駅出発。(カラスがいっぱい)

7:55 駐車場着。札幌は吹雪だったから山の上にも吹くかもと、リーダーと気象予報さんの予報。自分のスキーを積んだまま「車しめるよ～」と叫んでいるNさん。ザックを背負わずに出発しようとするMさん。ゴーグルやスノーシューを互いに直してあげながら「花が曲がっている」「あしが曲がっている」と褒め合うTさんJさん。山よ荒れないでと祈るばかり。

8:35 登山開始。風も無く穏やかな薄曇り、時々日も差す良い天気。雪はそれ程深く無いがスキー組が交替で先頭に行く。緩やかな林道もあるが、Fさんが名づけたという素敵斜面は結構な斜度。そこを過ぎると尾根に出るが、小雪がちらつき体がふらつく程の風も吹いて一気に寒くなる。目の前に真っ白な頂上が見えるがまだ遠い。



11:45 1062M ポコ付近で予定の12:00近くにもなり撤退となる。先に出たスノーシュー組は素敵斜面をスキー組が華麗なシュプールを描いて滑り下りるのを「すてき！」と見取れた後、負けじと木の間を滑るように下る。



12:30 スキー組が林の間の空地に TENT を張ってくれた所に、スノーシュー組もやっとこさっとこ着いて(急ぐと足がもつれるのでね。有り難うスキー組さん)楽しい昼食となる。

13:05 再び下山開始。途中の川で橋を探すが見当たらず雪の所に更にスコップで雪を積み丈夫な「橋」になったところで渡る。初めて

の目にした土木工事に興味して眺めるだけの私(ゴメン！)

14:15 無事駐車場着。ここでリーダーとお別れ、合言葉「御安全に」と言い交わしつつ。

14:30 駐車場発。途中ルスツ道の駅で野菜の爆買いをし、洞爺いこいの湯で入浴。

17:20 伊達道の駅着、解散(カラスがいっぱい)

登山開始前の諸々の事件も、ただの思い出と化して今回も無事で楽しい山行でした。
リーダーはじめ皆様有り難うございました。

{付記}「T・F さんと同じ位真っ黒」と J さんに言われた私。昨年室蘭岳に50日、その他の山々に30日余りお参りしたせいでしょうか。先日の例会での O 先生御講演の日焼け防止対策を今後は守り正々堂々とたたかう事を誓います。



栗山